

本・DVDの紹介



ウェブで貸出
しています

イグアナの娘

萩尾望都著
小学館 / 2000年

待望の赤ちゃんがイグアナの姿をしていたら、愛せますか？もし自分がイグアナの姿をしていると思ったら自分を愛せますか？我が子を愛せない母親と親の愛を求める子どもの苦悩について描かれたファンタジー。著者自身の母親との葛藤、「母ゴロシ」が題材になっている。もちろん実際にころすのではなく、自我形成のため親の呪縛や支配から逃れることを指す。

他の人には可愛い赤ちゃんだった長女リカ。しかし、母の目にはイグアナに映り、自分のコンプレックスを刺激され、疎ましく感じる。リカも自分は醜いイグアナだからだれにも愛されず、幸せにはなれないと思うようになる。

大人になったリカは母以外の人たちの愛情に守られ、変わることのなかった母の死をきっかけに、辛かった過去や母の存在を手放し、新たな人生を歩き始めていく。



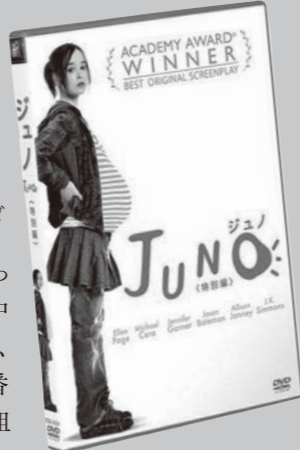
Juno

監督：ジェイソン・ライトマン
2007年制作 / アメリカ・カナダ

予期せぬ妊娠をしてしまった高校生のジュノ。一度は中絶を決意したが気が変わり、生まれてくる赤ちゃんを一番愛してくれる里親と養子縁組をすることに。

娘の妊娠問題に、父と義母は戸惑いながらも現実を受け入れ娘の決断をサポートしていく。世間の中傷、里親の離婚、一筋縄にはいかない大人の現実を前に、ドライに見えても傷つく16歳。揺れ動くありのままのジュノを受け入れる両親や親友の存在はこの作品のテーマの一つ。子どものクライシスにどう対応するのか、大人も試されるのだ。

ジュノと義母ブレン、赤ちゃんと里親ヴァネッサ、血縁のない“家族”。生まれてくる子どもが幸せになることを願う気持ちで深く繋がっている。「不安だわ。こんな抱き方でいいのかしら」と言うヴァネッサに、「新米ママはみんなそうよ」と言って立ち去るブレンが清々しい。



親の背をみて 子は育つ

子どもを叱りすぎた？
褒めて育てるとわがままにならない？
親はどれだけ子どもに影響を与えるの？
子育てのゴールって？
解答がないから子育ては不安だらけ。
私の親もそんなこと感じながら子育てしたのかしら…。



稲垣由子 (甲南女子大学教員)
専門は、小児科学(発達行動小児科学)・子ども学。研究テーマは、子ども虐待・人間関係発達。著書に「自閉症スペクトラムの少女が大人になるまで」(東京書籍)、「子どもの虐待とネグレクト」(日本小児医事出版社)など。

インタビューしてきました

稲垣さん、
お互いの尊厳を認めるって、
親とちがってあたり前
ということですね

W: 最近の親は変わったと思いますか？

I: 経験したことがちがうだけで親と子どもの関係としては変わっていないと思います。「虐待が増えている」と言われますよね。社会との関係性もあるけど僕の仕方がわからない、知らない人が多い。「怒る」と「叱る」の意味合いが子どもは感覚的にわかっているけれど、親になると混同してしまう。叱るとは言葉で「何が悪くて、こうすればいい」というところまで教えること。

よく「怒るな」と言われるけど怒ってもいいと思っています。子どもは親が腹の立つ感情を表出しているだけだとわかっているから。ただその感情を子どもにぶつけないこと。子どもが地団太を踏むように親も「腹立つ〜!!」と地団太を踏めばいい。

僕は原則「褒めて育てろ」です。物事の最後にこうしたから褒められたと子どもが達成感を感じるように。

W: 褒めすぎるとよくないと聞きますが。

I: 褒めすぎるといいことではないと思うのよね。いくら褒めても子どもは親が思う通りには育たないし、都合のいいようには動いてはくれない。なぜかと言うと「褒められた」ではなく、「都合のいいように動かしている」と子どもは見抜いている。子どもは賢いの。

いい親とは、今ここにある子どもの尊厳を認めることのできる親。「いけないこと」をした「あなた」がダメなのではなく、その「行為」がダメなんだと伝えること。そのちがいが大切で、その行為が改まったときにきちんと褒めるの。

W: 子どもにとって親とは？

I: ケアを保障されていると感じられるのが子どもにとっての親。「安心できる」「ほっとできる」ところが家、「鳥の巣」です。鳥は卵を産むときに巣作りし、卵を産み、ヒナを育て巣立っていったら終わり。人間も同じよね、生物学的には。

「育てる」は「巣立つ」。「育む」は、鳥が雨露からヒナを守る「はがいくるむ」という言葉からきているの。

W: 私は子どもに関わりすぎています？

I: そう、一言で言うとお暇。そして親は「子どものためにあれができない」「親として私はだめだ」と自尊心を削っていく。

子どもの社会って、よく見ていると子ども同士できちっと成り立っている。子

どもの社会で子どもは育てられるの。
W: 子どもから手を離す時期を教えてください。

I: 自分の考えもはっきりわかってきて、親の言うことも他人が言うことも同じ重みで理解できるようになるのが10歳くらい。「親の言う通りにしてもうまくいかない」と感じる時期です。子どもが自分で考えて何かしようとするときに、親は「あなたが考えたことは正しい」と言ってあげる時期ですね。

W: 次に、私たちの親との付き合い方を教えてください。

I: 価値観のちがうことを言われても、竹輪耳(=素通り)しとけばいいんです。わざわざ敵と思わないし。人間関係の究極はお互いの尊厳を認めることです。いろいろ言う親の姿は認めましょう、ただ内容はそれぞれの価値観だから竹輪耳に。それが人間関係の大事なことよね。

インタビューを終えて

まるで自身の子育ての答え合わせをしているようでした。「いい親」をめざしていたつもりはまったくなかったけれど、常識と言われることを無意識にめざしていた自分に気付かされた感じです。

子どもに腹を立てるのも、親とちがうことをしたら罪悪感をもったり、悩んだりするのも全部当たり前なことなんだと思うことができとても楽になりました。

編集後記

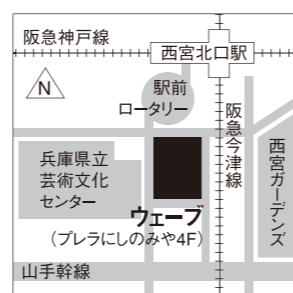
○酷暑の夏に子どもの発熱。抱きかかえた子どもからはサウナのようなこみ上げる熱を感じる。熱〜い!!(ちび) ○夏の暑さに負けず子どもの元気は衰えない。一日中しゃべり倒す息子の声がBGMとなり私の眠気を誘う、私の体力は衰えまくらだ。(でめ) ○夏の暑さとクーラーに負けっぱなしの近頃…。早く涼しさと共に美味しい味覚の秋、来ないかなあ。(みかん) ☺☺☺☺

■ネットワーク委員とは:西宮市男女共同参画センター ウェーブを拠点に市民参画の事業を推進することを目的に公募で選ばれた市民(任期2年)。現在の第5期委員は主に情報誌の編集・発行をしている。
■ウェーブ(WAVE)の意味:「男女がともに行動し、活気に満ちた平等社会をめざす」ことを意味する言葉(With/Act/Vitality/Equality)の頭文字と、男女共同参画社会の実現に向けて大きな波(うねり)をつくっていく、という思いがこめられています。

ウェーブは、男女共同参画社会の実現をめざす施設です。性別、年齢、国籍にかかわらず、ご利用いただけます。
◎開館時間 1月4日~12月28日 / 9:00~22:00
◎受付時間 月~土曜日(年末年始、休日除く) / 9:00~17:15

WAVE PRESS Vol.10

●発行日 2010年11月15日
●編集・発行 西宮市男女共同参画センター ウェーブネットワーク委員会 〒663-8204 西宮市高松町4番8号 プレラにしのみや4F
Tel. 0798-64-9495
Fax. 0798-64-9496
http://www.nishi.or.jp/homepage/wave/



私たち、親にむかって「いいお友だちでいましょうね」って言うことにしました

なぜ、居心地が悪いんだ

「お帰りなさい。あなたご飯にする？ それともお風呂？」 学生のころ私が思い描いていた理想の世界がこれだった。

父親が外で働き、母親が家事や育児をする。そういう家庭で育った私はそれが当たり前だと思っていたし、知らないうちに理想になっていた。しかし、社会に出て働き出して私の世界が変わったころ、その理想は一変。むしろ私にそう聞いてくれる環境こそが理想になった。そんな私に母は苦笑いし、父は「あほか」と言った。

私の父は毎晩晩酌をしていた。母もお酒は強かったが、母の飲んでいる姿は数えるほどしか見たことがない。つい最近、友人と暑さの話からビールの話になった。私は夫が夕食のときにビールを飲むこ



とには何の違和感もない。しかし、私もお酒は好きだけど私一人でビールを飲んでいる姿は想像できない。別に自分だけでビールを飲むことが悪いとはこれっぽっちも思わないのに、ただただ居心地が悪い。

私はいろいろなことを自分で考え、選び、決めているつもりだけど、つねにその「基準」は親がしてくれたことや親の生き方、とくに母親の生き方なのではないかと思う。だから親がしていたことをすると「正解な」気分になり安心するし、親とちがったことをするととても居心地が悪い。

この春からパートで働き始めたときもそうだった。夫は「好きにしたら」と言ったのに、父は「子どもが小さいのに可哀想だ」。私はとても悩んだ。しかし共働きの親をもつ親友はそんな私の悩みを笑い飛ばした。「大丈夫よ、子どもは子どもで好きにやるわよ」。それもそうだと妙に納得してしまったのと同時に、私は子どもの心配はもちろんしていたけど、母親とちがう生き方を選ぶことに対して居心地が悪く、不安だったのではないかと考えた。親の影響というものは本当にとっても大きい。



繰り返し聞いた言葉は

悪戯盛りの息子たち。ご飯を食べればほろほろこぼす。服を脱いだら、ほったらかし。おもちゃは次から次へと出していく。エネルギーに満ち溢れ、発散することに目を輝かせている。まるで小さな怪物だ。

その怪物たちに「きちんとしなさい」「ちゃんとしなさい」と事あるごとに言っている。「よそ見をしないでご飯を食べて」「出したものは元の場所に片付けて」という意味だが、小さな子どもにわかるわけもない。

私は三人きょうだいの第一子として生まれた。後継ぎを望んでいた祖母にがっかりされ、3人目にして男の子を生み、母は安堵の息をついた。同居していた祖母は女手一つで子ども三人を育てた気丈な人で、仕事も家事もきっちりこなした。お盆などには段取りよく準備をし、野菜の皮まで料理に活用するよう人だった。習慣やしきたりが重宝され家のやり方に従



わなければならず、慣れない母は行事のたびに祖母や小姑から叱責されていた。

父は祖母との折り合いが悪く会話もほとんどなかった。仕事に専念し、家事・育児一切を母任せにした。祖母と母の会話は緊張感が漂い、にぎやかな家族とは程遠かった。働きづめで手を休めることのなかった母は、それでも自戒の意味を込めて「きちんとしなくては」「ちゃんとしなくては」と思っていたと言う。母が意識していた言葉は、そのまま子どもへの躾の言葉になったのだ。

布団を畳むときも折り目をまっすぐにするほど几帳面な私にとって「きちんと」「ちゃん」とは完璧主義に追い込まれる息苦しい言葉だった。「いい加減でいいのよ」と、軽い言葉がほしかった。今でも私は、何をどうすれば「きちんと」なのか分からない。

親なんて勝手なもんだ

私は特別に成績がいいわけでもなかったが、勉強嫌いでもなかった。母は私に「あなたはいい大学にいけるよう頑張りなさい」と言っていた。「なぜいい大学に行かないといけないのか？」と聞いたことがある。母の答えは「いい大学を出れば、資格があれば、女でも男と肩を並べて仕事ができ、生きていける」。もともと私は男性優位色が強い地元で反発を覚えていたのでこの言葉には納得した。

私は大学に進学し、就職した。就職先は、男性と同等の扱いで自活できる給与が貰える所にこだわっただけあり、経済的に自立した社会人生活を始めることができた。親はさぞかし安心し、少なくとも母は私を認めてくれるだろうと考えていた。が、私が帰省した際に友人の息子と引き合わせようとお見合いの計画を立てていた。父は「本気で一人で生きていくつもりか」と電話をかけてき

た。そのころ、私は営業職で男性社員と肩を並べ仕事をしていたにもかかわらず、「女のくせに」「女だから」と言われ、「女」という立場に苦しみながらも踏ん張っていたが、親は支えになってはくれなかった。

結婚と同時に仕事を辞めると言う「せっかくなお仕事に就けていたのにもったいない」。夫の転職に付き合いながら転職をし、見知らぬ土地での生活に追われていると当たり前のように「子どもは作らないのか」。子どもができて仕事を辞めると「気楽だな」と父。「子ども中心で過ごさなければいけない時間もある。でも仕事する気あるんでしょ」と母。働こうかと言うと「子どもはどうするの…」。親は私に何を求めているのだろうか。

親は軽い気持ちかもしれない。でも、私は常に親と自分の思い、それを取り巻く環境に葛藤してきた。いくら私の反抗心が強いとはいえ、親の望みに応えられないときは多少の罪悪感を覚えるのだ。「うるさい」と電話を切ったあとはなんとも後味が悪い。

そして、「いままで、ありがとう」とも嫌いなわけじゃない、慕う気持ちももっている。つかず離れずの関係になりたいのです。



親子関係理不尽用語解説

★「母親でしょ」

言葉の最後につけると思考停止効果抜群。その主張が正論であろうとなかろうと、すべての事柄の責任を母親に押し付け、反論を封じ込めることができる。

★実例 「子どもがアレルギーなんだから、母乳あげている間はワカメしか食べちゃダメよ。母親でしょ」(私が病気になるります…)

★「〇〇してあげたのに…」

遠い目をしてつぶやくと効果的。期待する反応や結果がないとき、自分の欲望を押し付けたことを忘れさり、責任はあなたにあるのよと念押しするために用いる。

★実例 「高いお金出して塾に通わせて、大学まで進学させてあげたのに…」(昔神童、今凡人…)

★「ちゃんとしなさい」

威力は目力の強さと比例するが効果は？ 曖昧さ故にオールマイティに使用される非常に便利な用語。使用頻度が高いので、軽く流してしまっても反応できないと、「空気ヨメ！」と、より強烈な視線を浴びることになる。

★実例 「ちゃんとしなさいって言うてるでしょ」(…で、なにを?)